

## 第80回計画推進評価部会における意見と県の対応

NO	委員名	意見	対応状況	該当箇所
1	村井委員 川崎委員 北原委員	SDGsに関する説明はもっとしっかり行った方が良いのではないかな。	ご意見の趣旨を反映しました	第2章 1 新たな政策課題を検討するに当たっての視点
2	牛山委員	新たな政策課題を検討するに当たっての視点は、SDGsを参考にしながら検討したというまとめの方が理解しやすいのではないかな。	ご意見の趣旨を反映しました	第2章 1 新たな政策課題を検討するに当たっての視点
3	小池委員	地域の課題をグローバルな視点で考えると同時に、神奈川や地域というローカルな視点でもとらえていく。両方の視点から考えていくことが重要なのではないかな。	ご意見の趣旨を反映しました	第2章 1 新たな政策課題を検討するに当たっての視点
4	伊達委員	SDGsの中で議論されているレベルの話と、県の中で議論すべき話というものに、どれくらい差があるのか、その差の部分はどう理解して、どう政策に反映しようとしているのかといったところを丁寧に説明する必要があるのではないかな。	ご意見の趣旨を反映しました	第2章 1 新たな政策課題を検討するに当たっての視点
5	杉田委員	部会でのいろいろな議論の積み重ねの中から神奈川としての視点が出てきて、それがSDGsにもつながっているという見せ方の方が理解しやすいのではないかな。	ご意見の趣旨を反映しました	第2章 1 新たな政策課題を検討するに当たっての視点
6	北原委員	SDGsの目標は国連が決めたことで神奈川は関係ないということは全くなく、私たちの暮らしの積み重なりとSDGsの目標はかなりつながっている。それをどういうふうに見せていくかというときには、かなりグラフィカルに丁寧に、誰が見ても分かりやすいようなデザインにした方が理解も進むのではないかな。	ご意見の趣旨を反映しました	報告書全般 (参考) 「県の政策の基本理念の方向性がSDGsの趣旨と軌を一にする」ということを表すフリップを用いて、2018年1月5日に知事年頭記者会見を行いました。様々な場面を通じて県民への理解促進に努めていきたいと考えています。
7	牛山委員	神奈川の課題が世界、SDGsにつながるという方向で書けるかどうか検討してみたらいいのではないかな。	ご意見の趣旨を反映しました	第2章 1 新たな政策課題を検討するに当たっての視点
8	関委員	神奈川にとって重視したい政策課題や視点を最初に書くという記載順の方が良いのではないかな。	その他	「第2章 1 新たな政策課題を検討するに当たっての視点」の記載順に関しては、健康という身近な分野から関連する分野へと概念を広げていくという形で整理しました。
9	伊達委員	神奈川県の新政策課題を検討するに当たっての視点で使われる言葉の使い方があいまいであり、整理する必要があるのではないかな。	ご意見の趣旨を反映しました	報告書全般

10	橋本委員	この報告書を自ら読もうと思う人だけでなく、例えば子どもたちが読んでも分かるようなものとしていく必要があるのではないかと。	ご意見の趣旨を反映しました	報告書全般
11	原嶋委員	社会環境の変化が5項目、新たな政策課題を検討するに当たっての視点が11項目、対応が望まれる課題が7項目、国連のSDGsが17項目となっており、関係性が分かりにくいので整理する必要があるのではないかと。	ご意見の趣旨を反映しました	「第2章 1 新たな政策課題を検討するに当たっての視点」を11項目から5項目に再整理するとともに、「本書の構成」のページをより分かりやすくなるよう更新しました。
12	原嶋委員	ミレニアム開発目標に上乗せした部分は先進国にも関係することなので、その点をもう少し明確にすることで、神奈川県ないし日本が取り組むべきことが見えてくるのではないかと。	ご意見の趣旨を反映しました	第2章 1 新たな政策課題を検討するに当たっての視点
13	朱委員	新たな政策課題を検討するに当たっての視点について、抽象的な言葉は避けて分かりやすい言葉にした方が良いのではないかと。	ご意見の趣旨を反映しました	第2章 1 新たな政策課題を検討するに当たっての視点
14	牛山委員	社会環境の変化に「世界・情報・地域との結びつきの飛躍的な拡大」という柱があるが、いったい何が何に結びついているか分かりにくく、柱名称を分かりやすくする必要があるのではないかと。	ご意見の趣旨を反映しました	第1章 2 人や情報の交流をめぐる状況
15	伊達委員	神奈川県として重点領域と考える分野はどこなのか、その領域とそれ以外との関係をどう考えるのかについての説明が必要なのではないかと。	ご意見の趣旨を反映しました	第2章 4 (3) 政策分野・政策体系の検証
16	伊達委員	個別の項目内では整合性が取れているが、報告書全体として見たときに整合性が取れていないと感じる部分もあるので、改めて全体を見渡した方がよいのではないかと。	ご意見の趣旨を反映しました	報告書全般
17	原嶋委員	「地域」と「社会」、「くらし」と「生活」など、よく使われる言葉ではあるが受け取る人によってイメージが違うものもある。イメージを統一した方がよいのではないかと。	ご意見の趣旨を反映しました	報告書全般
18	杉田委員	県が担うべき課題をまず書いて、県が担わなくてもよい課題をその後に記述するなど、順番をメリハリのあつものにしたい方がよいのではないかと。	その他	「第2章 1 新たな政策課題を検討するに当たっての視点」においては、健康という身近な分野から関連する分野へと概念を広げていくという形で整理しました。また、「第2章 2 対応が望まれる課題」については、現行のかわがわブランドデザインにおける政策分野別体系に沿って整理しました。

19	小池委員	政策の実行等により変化が起こったことを把握するための事象・指標を記載できると良いのではないか。	ご意見の趣旨を反映しました	第2章 1 新たな政策課題を検討するに当たっての視点
20	北原委員	環境の変化に応じて対応すべき課題が生じて、それがこのような施策で改善するという流れを読み取れるように文章構成を工夫した方が良いのではないか。	ご意見の趣旨を反映しました	第2章 2 対応が望まれる課題全般
21	関委員	新たな政策課題を検討するに当たっての視点については重要度にあわせて順番を並び替えた方が良いのではないか。	その他	「第2章 1 新たな政策課題を検討するに当たっての視点」の記載順に関しては、健康という身近な分野から関連する分野へと概念を広げていくという形で整理しました。
22	関委員	神奈川らしさを表すためにも、社会環境の変化については、神奈川に関する記載をもう少し記載した方が良いのではないか。	その他	「第1章 社会環境の変化」は、神奈川に影響を与える可能性のある日本国内や世界における特徴的な社会環境の変化について記載するよう整理しました。また、その旨が分かりやすいように、「はじめに」のページ及び、「本書の構成」のページに趣旨を掲載しました。
23	牛山委員	「第2章 3 (2) 多様な担い手との連携」ということで、「連携・協働」という記載してはどうか。	ご意見の趣旨を反映しました	第2章 3 (2) 多様な担い手との連携・協働
24	牛山委員	「第2章 3 (4) 国・県・市町村の関係」のところについて、基本的には市町村への権限移譲を進めている。表現の工夫が必要なのではないか。	ご意見の趣旨を反映しました	第2章 3 (4) 国・県・市町村の関係について ①県と基礎自治体との関係
25	伊達委員	基礎自治体の行政執行能力にかなり差があり、執行能力を向上させる仕組みが必要なのではないか。また、現状の評価機関である議会や市区町村の役所などの能力について強化をすることも必要で、そのためにどういった支援をすればベースラインが上がるのかを考える必要があるのではないか。	ご意見の趣旨を反映しました	第2章 3 (4) 国・県・市町村の関係について ①県と基礎自治体との関係
26	伊達委員	事業を実施した場合と実施しなかった場合で、結果にどれほど差が出たのかを確認することが必要なのではないか。	ご意見の趣旨を反映しました	第2章 4 (2) 政策評価のあり方
27	原嶋委員	報告書が何年程度先の将来を想定しているのか記述すべきではないか。	ご意見の趣旨を反映しました	はじめに

28	原嶋委員	「第1章 5 (1) 地球環境問題の深刻化」において、生物多様性条約の下での「愛知目標」（短期目標・長期目標）に言及するべきではないか。	ご意見の趣旨を反映しました	第1章 5 (1) 地球環境問題の深刻化
29	原嶋委員	「第1章 5 (1) 地球環境問題の深刻化」において、遺伝子組換え（バイオ）技術の生物多様性への悪影響についても懸念されている。	ご意見の趣旨を反映しました	第1章 5 (1) 地球環境問題の深刻化
30	原嶋委員	「第1章 5 (2) 持続可能な資源・エネルギーの導入促進に向けた取組み」において、欧州や中国でのEV車導入の方針表明は、日本にも重大な影響がある。	ご意見の趣旨を反映しました	ご意見の趣旨については、第2章 2 (3) 産業・労働 ③中小企業への支援 にて記載すると整理しました
31	原嶋委員	「第2章 1 (4) 環境と共生する持続可能な地域経済の実現」において、食品ロスの問題に言及するべきではないか。	ご意見の趣旨を反映しました	ご意見の趣旨については、第2章 2 (3) 産業・労働 ⑥持続可能な消費と生産の促進 にて記載すると整理しました
32	原嶋委員	「第2章 2 (1) エネルギー・環境②自然環境の保全」において、海洋等の環境保全について記述する必要はないか。	ご意見の趣旨を反映しました	第2章 2 (1) エネルギー・環境 ②自然環境の保全
33	原嶋委員	「第2章 2 (1) エネルギー・環境③循環型社会づくりの推進」において企業のCSRやESG投資の取組みや消費者グリーン購入など生産と消費のグリーン化について触れるべきではないか。	ご意見の趣旨を反映しました	ご意見の趣旨については、第2章 2 (3) 産業・労働 ⑥持続可能な消費と生産の促進 にて記載すると整理しました
34	内田委員	全体として、個々の事象を細かく捕らえた分析は深いですが、県全体としての政策のコアが見えない。全体を見ていない。その意味では、SDGsを座標軸として「人間を中心とした持続可能な政策展開」というようなコアを構えてはどうか。	ご意見の趣旨を反映しました	第2章 1 新たな政策課題を検討するに当たっての視点
35	内田委員	経済活動にかかわるマクロな視点が欠けているように感じる。神奈川の経済活動の特徴は何か。30年前は新産業育成を目指したベンチャー育成、インキュベーション促進だった。そのため、KSPが国内初の機関として生まれたわけで、そのようなことも記述した方がよいのではないか。	ご意見の趣旨を反映しました	第2章 2 (3) 産業・労働 ②技術革新を生かした産業の振興